

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



20歳になりました

FEB 2019

2

No.688



①新成人を代表して挨拶した藤井さん ②結婚・就職・進学、それぞれ道は違っても、ずっと大切な仲間 ③式典中の表情も真剣そのもの ④華やかな晴れ着姿で記念撮影 ⑤今の時代はスマホで思い出を残します ⑥中学時代の恩師、山中江利子先生 ⑦大人への第一歩を踏み出した小学生ドッジボールクラブ添田フレンズのOB、OGの皆さん ⑧色とりどりの晴れ着姿の新成人が式典会場を彩りました ⑨いくつになっても仲良しの落合小の卒業生



第52回添田町成人式

新しい門出を祝う 二十歳はたちの集い

1月13日、新成人111人を対象に第52回添田町成人式がオークホールで行われました。式典には、晴れ着に身を包んだ76人が出席。再会を喜び合いながら大人への一歩を踏み出しました。



平 成最後となる添田町成人式が1月13日、オークホールで行われ、華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包んだ新成人76人が集い、旧友や恩師との再会を喜び合いました。

式典では、寺西町長が「今後、岐路に立った時、ポーンと生きるのではなく、熟慮して、決断、行動を起こす勇氣が必要です。自分の可能性を信じ、積極的に挑戦し、努力を重ねれば、皆さんの人生は輝かしいものになると確信しています」と期待を込めて激励。また、祝福にかけつけた中学時代の恩師や来賓などからも温かいメッセージが送られると、新成人たちは耳を傾けて、静かに聞き入っていました。

式典の後半では、中学時代の懐かしい写真がスクリーンに映し出され、当時を思い出して、会場は笑いの渦に包まれました。

最後に、新成人を代表して藤井玲希さん（岩瀬）が謝辞を述べ「今日の感動を生涯忘れることなく心に刻み、それぞれの大きな夢に向かって前進していきたい」と力強く宣誓しました。

式典終了後、恩師や友人たちと近況報告や思い出話を盛り上げたり、写真を撮り合ったりして旧交を温めました。



2019 新成人にインタビュー
二十歳の抱負を聞きました

晴れて大人の仲間入りを果たした新成人の皆さんにこれからの抱負を聞いてみました。



●特集 未来へつなぐ

地域の線路

年譜（豊州鉄道～九州鉄道～小倉鉄道～国鉄～JR九州）	開通区間
明治29年2月	田川伊田駅～田川後藤寺駅間が開通
明治32年7月	田川後藤寺駅～豊前川崎駅間が開通
明治36年12月	豊前川崎駅～西添田駅間が開通
大正4年4月	東小倉駅（当時）～添田駅間が開通
昭和12年8月	夜明駅～宝珠山駅間が開通
昭和17年8月	西添田駅～彦山駅間が開通
昭和21年9月	大行司駅～夜明駅間が開通
昭和31年3月	彦山駅～大行司駅間が開通
昭和31年3月	※釈迦岳トンネルが開通
昭和31年11月	城野駅～石田駅間が開通、日田線と命名される。彦山駅の利用客は年間18万人に
昭和32年10月	香春駅～田川伊田駅間が開通
昭和35年4月	路線名が日田彦山線となり、香春駅～添田駅間は添田線となる
昭和60年4月	添田線が廃線となる
平成20年3月	歓遊舎ひこさん駅を新設
平成29年7月	九州北部豪雨により添田駅～夜明駅間が不通に

※駅名については、原則として現在の駅名を表記しています



【さようなら添田線】
↑香春駅から田川市、大任町を通り、添田駅に至る旧国鉄添田線。炭鉱閉山などで、乗降客や貨物輸送が低下、赤字が長く続いたことから廃線対象に。昭和60年3月31日、添田駅でさようなら添田線廃線記念式典が行われました。



↑昭和40年ごろに撮影された添田駅



↑昭和14年、添田駅での入隊出発風景



↑大正11年ごろに撮影された添田駅の風景

城野駅から夜明駅まで 68.7kmの鉄道路線

日田彦山線は北九州市小倉南区の城野駅から香春町、田川市、川崎町、添田町、東峰村を通り、大分県日田市の夜明駅に至るJR九州の鉄道路線です。68.7kmの路線距離に24駅があり、添田町には5つの駅があります。



人をつなぎ、地域を支え、日々、故郷を走ってきた日田彦山線。しかし、平成29年の九州北部豪雨により添田駅から夜明駅間が不通となり、いまだ復旧のめどは立っていません。この、かけがえのない線路をわたしたちは、未来へつないでいく必要があるのではないのでしょうか。

国と地域を支え、 延びていった鉄路

日本の近代産業化を支えた筑豊の石炭。鉄道は、黒ダイヤと呼ばれた石炭を確実に、早く輸送するため、張り巡らされました。

現在の日田彦山線では、明治29年に当時の豊州鉄道によって田川伊田駅から田川後藤寺駅間が開通。明治32年には豊前川崎駅まで延びました。

町内では、明治36年に九州鉄道が豊前川崎駅から西添田駅までを開通。当時は、西添田駅が添田駅と呼ばれていました。明治40年、九州鉄道が国有化され、大正4年には私鉄小倉鉄道が小倉から香春町、田川市、大任町を経由し、添田駅（当時の上添田駅）までを開通しました。

国鉄は、昭和17年に、西添田駅と添田駅を結び、さらに彦山駅まで延伸。昭和18年、国鉄によって小倉鉄道が買収され、同社保有の東小倉駅（当時）から添田駅は国鉄添田線となり、添田駅は添田線の終着駅であると同時に、日田彦山線（当時は田川線）の線路も

通る駅として賑わいました。昭和12年に着工し、戦時中は工事を中断、戦後に再着工して昭和31年、難工事の末に全長4378mの釈迦岳トンネルが開通。彦山駅と大行司駅間がつながり、これまで別々に存在していた北からの路線と南からの路線が一つとなり、日田線と命名され、この年の彦山駅の利用客は18万人を超えました。

人々を乗せて、 走り続ける列車

昭和25年ごろを境に石炭から石油へとエネルギー革命が起き、炭鉱は次々に閉山。かつて、国策として多くの黒ダイヤを運び、地域経済を支え続けた鉄道は、貨物輸送としては役目を終えましたが、地域の皆さんの生活のための足として、また英彦山観光の重要な交通手段として、人々を乗せ走り続けてきました。

しかし、昭和60年に添田線が廃線となり、日田彦山線も平成29年7月から添田駅から夜明駅までの区間で不通が続くなど、かつてない苦境に立たされています。

※ 地元の添田町が彦山線となるよう国鉄に陳情し、昭和35年に現在の名称「日田彦山線」となりました



INTERVIEW

学生や高齢者のため早い復旧を

国立北九州工業高等専門学校 2年 **川畑 廉人**さん

落合の自宅から榊田駅まで自転車、そこから代替バスで添田駅に、そして日田彦山線で北九州市内まで通学しています。代替バスから列車への乗り換えなどで片道30分ほど、往復で1時間ほど時間を取られます。毎日1時間あれば勉強などに時間を有効に使うことができます。現在は、添田駅まで送ってもらっている友人が多いですが、復旧すれば彦山駅や榊田駅などから列車通学をしたいと思います。免許を持たない学生や高齢者のためにも早く復旧してほしいです。



↑桜と菜の花の中、榊田駅に入る列車(平成25年3月、榊田駅前にて撮影)

【九州北部豪雨発生】

平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨。日田彦山線では13時ごろから添田駅から夜明駅の間で運転見合わせ。川に架かる橋の橋脚傾斜や流木による橋げたの損傷、トンネル内や線路への土砂流入、盛土や軌道が流出するなど多数の被害が確認されました



↑流木に覆われた彦山川踏切そばにある鉄橋



↑榊田地区の橋も流木の被害に遭いました

現在はバスによる代替運行が行われています。

全線復旧へ向けて

乗って、未来に残そう

町は、東峰村と日田市、福岡県、大分県とともに全線復旧に向けた協議をJRと行っています。また、JRをはじめ、鉄道会社を管轄する国土交通省などに要望書や要請書を提出し、早期の全線復旧を図っています。

当初、70億円と見積もられた復旧費用ですが、今現在は、56億円まで低減。しかし、高額であり、JRは赤字路線であることと理由に運行経費の負担を自治体に求めてきています。

少子化による通学生の減少や家用車の普及など日田彦山線を取り巻く環境は厳しさをますます感じています。町は沿線の自治体と連携を図りながら、観光列車を走らせたり、イベントを企画したりと利用客数の増加を図ります。しかし、全線復旧に向けて一番の特効薬は、やはり皆さんが日田彦山線に乗ることです。

皆さんが一回でも乗ってもらえることが、わたしたちの日田彦山線を未来につなげていく近道になるのではないのでしょうか。

現在バスによる代替運行が行われています。

豪雨が襲った地域の大切な鉄道

まだ記憶に新しい平成29年7月の九州北部豪雨。町に甚大な爪痕を残した集中豪雨は、日田彦山線にも容赦なく牙をむきました。流木によって川に架かる橋は損傷を受け、トンネルや線路へ土砂が流入するなど被害のあった場所は、JRの発表によると63か所。そのうち、橋が5か所にのぼり、その日から添田駅と夜明駅の間は運休となり、

鉄道での全線復旧のために私たちが出来ること 未来へ残すために

平成29年7月5日に発生した九州北部豪雨は、日田彦山線を襲い、川に架かる鉄橋などが多くの被害を受け、添田駅から夜明駅までの区間で代替バスでの運行となっています。町は東峰村と日田市、福岡県、大分県とともに全線を復旧し、大切な鉄道を未来へ残すために、JRと協議を行っています。

- 平成30年4月4日 第1回日田彦山線復旧会議(福岡市)
- 平成30年6月4日 国土交通省九州地方整備局へ要望書を提出
- 平成30年8月31日 緊急要請書をJRに提出
- 平成30年10月17日 JRに対し指導を求める要望書を国土交通大臣に提出
- 平成30年10月25日 第2回日田彦山線復旧会議(大分県別府市)
- 平成30年12月26日 東峰村議会、添田町議会、日田市議会が要望書をJRに提出

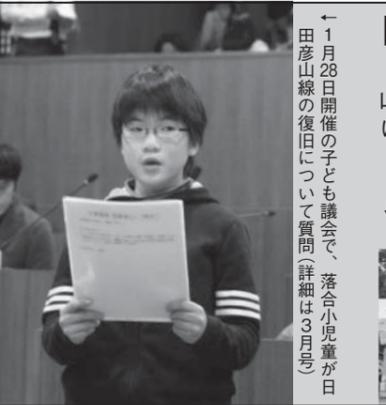


↑11月11日、JRの女性社員が企画し、ひかり保育園児が描いた列車や天狗の絵が添田駅に飾られました



昨年12月26日、東峰村議会と添田町議会、日田市議会が早期復旧に関する要望書をJRに提出。添田町議会を代表し合戸精一副議長(左)が手渡しました。

- 平成29年7月5日 九州北部豪雨発生。13時ごろから運転を見合わせ
- 平成29年7月26日 日田彦山線活性化推進沿線自治体連絡会がJRに要望書を提出
- 平成29年8月16日 JR代行輸送のバス運行開始
- 平成29年10月25日 JRが町に被害状況を説明。復旧費が70億円になる
- 平成29年11月6日 田川地区広域政策協議会がJRに要望書を提出
- 平成30年3月4日 行政区域長会が4,830人分の添田町民の署名をJRに提出



↑1月28日開催の子ども会議で、落合小児童が日田彦山線の復旧について質問(詳細は3月号)

【復旧に向けて】

鉄道での全線復旧に向け、未来へ日田彦山線を残すため、多くの皆さんの支援を受けながら、JRとの協議が続いています。

↓昨年の運動会で園児と保護者が線路をつなぐ競技をするなど日田彦山線を応援するくみ保育園




EVENT

S L 人吉の客車が日田彦山線を走る

日田彦山線活性化推進沿線自治体連絡会 / JR九州

日田彦山線の利用促進と沿線地域の活性化を目的に活動している「日田彦山線活性化推進沿線自治体連絡会」では、JR九州とタイアップし、S L 人吉の客車を臨時運行します。

●とき 2月9日(土) 添田駅 12時11分着 / 15時57分発

※乗車は事前に申し込みをした人しかできません

☎ 役場まちづくり課施策推進係(☎82-1236)



↑満開の桜のもと彦山駅構内に入る列車(平成25年3月、彦山駅前にて撮影)

INTERVIEW

今も駅をきれいにし、列車を待つ

彦山駅前で食堂を営む落合観光協会会長 **早戸 秀喜**さん

私が生まれるころ、約70年前に父が彦山駅前に食堂の駒どりを開店して以来、ずっと生活に彦山駅がありました。私自身も高校から予備校、大学までの合計8年間、彦山駅から田川や小倉、福岡に通学。当時は列車に乗っている人も多かったです。不通から1年半、駅に列車が来ないのは気分が落ち込み寂しく感じます。地域住民の生活を支えてきたのが日田彦山線。そして、英彦山観光の玄関口が彦山駅ではないでしょうか。私たち地元住民は、駅の清掃や管理をしながら、1日も早い復旧を待ち望んでいます。

未来へ駆ける切符を

添田町長 寺西明男
Interview

九

州北部豪雨から1年6か月が経過しました。その間、町議会による要望書の提出をはじめ、行政区長会の署名活動など多くの皆さんにご支援とご協力をいただいたことに感謝いたします。

費の自治体負担を求めてきています。鉄道設備の維持にかかる経費に相当する費用として年1億6000万円です。国鉄から民間会社に移行した際、赤字路線は内在していた問題です。鉄道事業者として引き受けたからには、赤字部門を切り捨てるのではなく、黒字化を目指すべきだと思います。

それでもあります。そして、利用客の増加を図る一番の促進策は皆さんが日田彦山線に乗ることです。長い間、この地を走り続けてきた日田彦山線。通学生の減少やマイカーの普及など鉄道を取り巻く環境は厳しさを増すばかりですが、日田彦山線は未来へ残すべき地域の大切な財産です。国や地域、そして皆さんの生活を支えてきた日田彦山線に乗ることが全線復旧につながる近道だと確信しています。未来を駆ける日田彦山線への応援切符は、皆さんが手の中に握っているのではないのでしょうか。皆さんよろしくお願ひします。

日田彦山線は地域の貴重な財産です。大切な鉄道を未来へつなぐため、皆さんも日田彦山線に乗ってください。応援をよろしくお願ひします。

東峰村と福岡県、日田市、大分県と共に進めてきましたJRとの協議ですが、我々の目指すところは鉄道での全線復旧です。これまでの協議の中で復旧に係る費用は、当初の70億円から、国や県の補助金などを活用し、現在は56億円と大幅に減額されました。今後も減額されるのではないのでしょうか。

しかし、JRは今後も継続的に運行ができるようにと運行経

求めるのではなく、2月9日にSL人吉の客車が添田駅までやってくるように、ゆふいんの森号などの人気の観光列車の車両を走らせたり、快速列車を走らせ利便性を高めることで利用者の増加を図ったりと対策はいく

【平成31年1月30日現在】



↑人気列車のゆふいんの森号



津野の春を満喫しませんか

油木ダム桜ウォーキング大会



と き ▶ **4月7日** 日雨天決行
開会式 9時30時～(受付 8時30分～)

【集合場所】津野小学校グラウンド 【定員】先着500人

【コース】6キロ、15キロ

【参加費】大人 2,000円、中学生以下1,000円

※記念品・昼食代・保険代を含む。

※参加費は、返金できませんのでご了承ください。

また、別途振込料金がかかります。

※小学生以下は保護者が同伴してください。

【申込期限】2月28日(木)必着

大会リーフレットに添付している郵便振替払込取扱票に必要事項を記入し、参加費を添えて郵便局で申し込んでください。2人以上でお申込みの場合は、代表者名を記入し、人数分の参加費を添えて申し込み、他参加者の氏名・住所などは郵送かFAXで役場まちづくり課まで連絡ください。

■ 地元物産を販売します

ウォーキング大会に参加しない人にも楽しんでもらえるよう、今年も地元物産販売などを行います。



●問い合わせ・連絡先

〒824-0691

福岡県田川郡添田町大字添田 2151

添田町役場まちづくり課施策推進係

(☎ 82-1236 / FAX 82-2869)

忘れず申請をお願いします

4月から小学生のお子さんは「ひとり親家庭等医療証」の手続きを

4月から小学校に入学するひとり親家庭等医療制度に該当するお子さんは、子ども医療証からの切り替えの手続きが必要です。



【必要な手続き】 対象となる小学校新1年生(生活保護世帯を除く)に認定申請書を送付しますので、忘れずに手続きをしてください。申請受け付け後、3月末に医療証を送付します。

●受付期限 3月8日(金)

●受付場所 役場保健福祉環境課子育て支援係

●必要なもの 印鑑、お子さんの保険証、申請書

☎ 役場保健福祉環境課子育て支援係 (☎ 82-1232)

70歳以上の人が対象です

外来の医療費に年間の限度額が設けられます

今年度から、70歳以上の人の外来の医療費に、年間の限度額が設けられ、新たに医療費の一部をお返しできるようになりました。

【対象】 70歳以上で、基準日に高額療養費の自己負担限度額が「一般」または「市町村民税非課税世帯」に属している人(医療費の負担割合が3割負担ではない人) ※月毎の高額療養費が支給される場合は、差し引いた金額で計算されます。

【年間上限額】 14万4千円

【計算期間】 平成29年8月1日～平成30年7月31日

【基準日】 平成30年7月31日

【申請先】 基準日に加入している健康保険元

※添田町の国民健康保険加入者で、国民健康保険期間のみで年間14万4千円を超える人には、役場保険年金係から申請書を送付します。

※計算期間内に一部社会保険期間がある人で14万4千円を超える人は、申請に保険元から出された自己負担額証明が必要です。

※後期高齢者医療の人は、後期高齢者医療広域連合から通知が届きます。高額療養費の振込口座が登録済みの場合申請手続きは不要です。

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)



平成31年度から配偶者控除・配偶者特別控除が変わります

平成29年度の税制改正により、配偶者控除と配偶者特別控除が改正されました。

■配偶者控除額

本人の合計所得金額に応じて控除額が変わります。本人の合計所得金額が1,000万円を超える場合は、配偶者控除の適用はできなくなりました。

※1 納税義務者の合計所得金額が1,000万円超で配偶者の合計所得金額が38万円以下の場合、配偶者控除の適用はありませんが、配偶者が障害者であれば、障害者扶養控除の対象となります。

申告される方の合計所得金額	控除額（町県民税）※所得税の控除額とは異なります	
	控除対象配偶者	老人控除対象配偶者（70歳以上）
900万円以下	33万円	38万円
900万円超～950万円以下	22万円	26万円
950万円超～1,000万円以下	11万円	13万円
1,000万円超	控除なし ^{*1}	

■配偶者特別控除

配偶者特別控除の対象となる配偶者の前年の合計所得金額の上限が引き上げられました。配偶者の合計所得金額および本人の合計所得金額により控除額が変わります。

なお、配偶者特別控除は夫婦の間で互いに受けることはできません。また、配偶者の合計所得金額が38万円を超えた場合は扶養の人数には含まれません。

配偶者の合計所得金額	控除額（町県民税）※所得税の控除額とは異なります			
	納税義務者の合計所得金額			
	900万円以下	900万円超～950万円以下	950万円超～1,000万円以下	1,000万円超
38万円超～90万円以下	33万円	22万円	11万円	控除なし
90万円超～95万円以下	31万円	21万円	11万円	
95万円超～100万円以下	26万円	18万円	9万円	
100万円超～105万円以下	21万円	14万円	7万円	
105万円超～110万円以下	16万円	11万円	6万円	
110万円超～115万円以下	11万円	8万円	4万円	
115万円超～120万円以下	6万円	4万円	2万円	
120万円超～123万円以下	3万円	2万円	1万円	
123万円超	控除なし			

■各種税の申告と納付の期限

- ▶所得税・贈与税＝3月15日^金まで
- ▶個人事業者の消費税と地方消費税＝4月1日^日まで

■振替納税を利用している人の振替日

- ▶所得税＝4月22日^日
 - ▶個人事業者の消費税・地方消費税＝4月24日^日
- ※新たに振替納税を利用する場合は「預貯金口座振替依頼書」の提出が必要です。

■簡単便利な振替納税

確定申告後、納付書をもっていただけど払い忘れ、納付期限を過ぎてしまうと利子税(延滞金)が発生することもあります。口座振替にしておけば、引き落としの日に、お金を通帳に入れておくだけ。簡単・確実に払い忘れることもありません。口座振替をご利用になると、納期限にゆとりができます。

■廃車手続きはお済ですか

原動機付き自転車や軽自動車などに対する軽自動車税は、毎年4月1日現在で車両を所有(登録)している場合に年額が課税されます。そのため、4月2日以降に廃車や名義変更をされても、月割り課税の制度はなく、その年度分の税金を一括で納めていただくこととなります。125cc以下のバイクやトラクターを登録したままで現在所有していない人は、ナンバープレートと印鑑を持って、3月29日^日までに役場で廃車の手続きをしてください。



■町税完納にご協力をお願いします

平成30年度の町県民税(普通徴収)や固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税(7期)の納期限が終わりました。納め忘れの税がないか確認し、町税完納にご協力ください。納付書を紛失した場合や、税や申告で不明な点がある場合は、いつでも気軽に役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)まで相談してください。



確定申告が始まります

今年も税の申告時期になります。障害年金や遺族年金を受給している人、収入がなく扶養になっている人も申告が必要な場合がありますので、期間中に申告を行ってください。

役場での受付期間

2月18日^日～3月15日^金
9時～16時(土・日は除く)

申告会場 役場1階 特1会議室
※3月3日^日 9時～16時は申告を受け付けます(添田町役場のみ)

田川税務署での受付期間

2月18日^日～3月15日^金
9時～16時(土・日は除く)

申告会場 たがわ情報センター(田川市)

■町県民税の申告をしなければならない人

- ▶平成31年1月1日現在、添田町に居住している人
- ▶平成30年中に営業、農業、不動産などの所得がある人
- ▶給与所得者でも日給などで働き、役場に事業主から給与支払報告書が提出されていない人

■申告のときに必要なもの

- ▶印鑑(書類で確定申告をする場合)
- ▶給与・公的年金の源泉徴収票など収入のわかるもの
- ▶営業・農業所得等の収支明細書
- ▶生命保険料・地震保険料の控除証明書
- ▶医療費控除を受ける人は、医療費明細書、領収書、補填された金額がわかるもの
- ▶障害者控除を受ける人は、障害者手帳などの証明
- ▶寄付金控除を受ける人は、領収書、受領書
- ▶マイナンバーカード、通知カード
- ▶申告者(本人)の通帳または口座番号のわかるもの

■公的年金受給者や国保加入者は特に注意を

▶給与所得以外の所得が20万円以下の人や公的年金収入額が400万円以下で、それ以外の所得が20万円以下である場合は、所得税の確定申告をする必要がありませんが、町県民税の申告は必要です。

▶国民健康保険に加入している世帯は、所得がない場合でも、必ず申告をしなければなりません。申告しない場合は、所得証明書の交付や国民健康保険税の軽減措置が受けられませんので注意をしてください。

■平成31年1月からe-Taxがより便利になりました

e-Tax(国税電子申告・納税システム)は、自宅やオフィスなどからインターネットなどを利用して、申告や申請、届出などができる便利なシステムです。

- ▶マイナンバーカード方式
マイナンバーカードを利用してe-Tax申告ができます。※ICカードリーダーが必要で、
- ▶ID・パスワード方式
ID(利用者識別番号)とパスワードにてe-Tax申告ができます。ID・パスワードについては、税務署で職員と対面による本人確認を行った後に発行されます。

お近くの税務署にご確認ください。平成31年1月からスマホで申告ができるようになりました。ID・パスワード方式で、確定申告書の作成ができます。詳しくはe-Taxのホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。





身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽にお問い合わせください。



留学生の皆さん、ようこそ添田町へ 添田東ふれあいサロン

添田東ふれあいサロンが取り組む、地域の高齢者の健康づくりや絆を深める活動が明るい社会づくりに貢献していると(一社)日本善行会から感謝状が贈られました。また、昨年12月21日に行われたサロンでは、県内の大学に通う、フランスやインド、マレーシアなどからの留学生7人が参加し、歌やゲームで交流しました。



↑九州工業大学などに通う留学生が参加したサロン

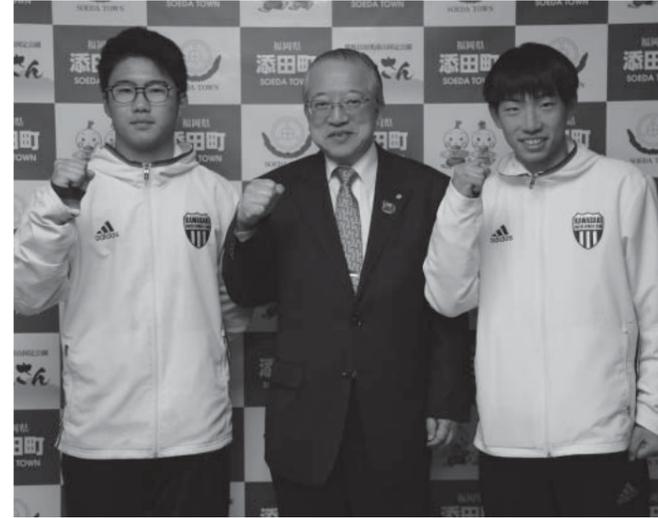
猛打爆発、強いぞ！添田フリーズ 田川少年野球連盟新人戦大会優勝

少年野球チームの添田フリーズが昨年の12月8日と9日の両日、田川市と川崎町で行われた新人戦大会で優勝しました。1、2回戦を猛打で勝利すると準決勝では投手戦を制して決勝に進出。決勝戦では田川市のチームに8対1で勝利し、見事優勝しました。添田フリーズは野球に興味のある小学生のメンバーを募集中です。



↑4試合で33得点をあげて優勝した添田フリーズ

↓1月8日、全国大会を前に寺西町長へ出場報告に訪れた宮崎さん④と梶原さん④



添田中の宮崎さん、梶原さん全国へ 全日本U-15フットサル選手権大会

添田中学校3年生の宮崎優太郎さんと梶原蒼汰さんが所属するサッカーチーム川崎FCが1月22日から三重県で開催されたJFA第24回全日本U-15フットサル選手権大会に出場しました。川崎町が練習拠点の川崎FCは昨年、筑豊大会と県大会を制し、11月に行われた九州大会も優勝して全国大会出場を決めました。5人制の室内競技のフットサルは、サッカーとほぼ同じルールで宮崎さんはゴールキーパー、梶原さんはフィールドプレイヤーです。小学校低学年のときに添田FCでサッカーを始めた宮崎さんと梶原さんにとって初の全国大会。結果は1次ラウンドを2勝1敗と好成績を収めたものの、勝ち点が1及ばず決勝ラウンドに進むことができませんでしたが、ピッチの上で躍動しました。

山に木を植えて知った森林の大切さ 津野小で林業体験

1月16日、添田町林業クラブ(小田宣和会長)が、森林の役割や緑の大切さを知り、林業への関心を持ってもらおうと、津野小学校3～4年生を対象に林業体験を行いました。今回は山に入り、2年前に種をまいて育てたトチやカリンなどの苗木を植樹。児童たちは、鍬で地面に穴を掘っては、苗木を植えつけていました。



↑植樹をすることで緑の大切さを実感した児童たち

暴力追放、安心・安全なまちづくり 防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会

昨年の12月18日、防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会が役場前駐車場で行われました。田川警察署や消防団、交通安全協会、婦人会の皆さんなど約150人が参加して、紅白餅をつきあげました。また、町内小学生から募集した防犯ポスターの表彰式なども行われ、安心・安全で住みよい町の実現を誓い合いました。



↑安心で安全な添田町を願って餅をつきあげました

有害鳥獣問題、おいしく食べて知る 落合小がジビエ料理に挑戦

昨年の12月20日、落合小学校の5、6年生12人が町の地域おこし協力隊とジビエ料理に挑戦しました。落合小では、学校菜園のサツマイモがシカに食べられるなどの被害があり、昨年子ども議会でも有害鳥獣に関する質問をしてきました。今回、被害の実情やジビエ、協力隊の活動を児童たちに知ってもらおうと隊員3人と一緒にシカ肉を使ったつみれ汁を調理しました。材料のシカ肉や白菜、ニンジン、大根、シイタケなどは添田産を使用。野菜を切り、煮立った出汁につみれと野菜、みそを入れて完成です。「シカ肉を自分で料理したのは初めてだったけどおいしくできた」とおかわりをする児童たち。協力隊の神吉能直さんは「ジビエを知るきっかけになればありがたい」と語っていました。

↓「地元産の食材の良さを見つけてほしい」と語る地域おこし協力隊の佐々木晋さん



盤上で繰り広げた静かな熱い戦い 第25回添田町長杯争奪囲碁大会

1月20日、中鶴教育集会所で、第25回添田町長杯争奪囲碁大会が行われ、町内の囲碁愛好家17人が参加しました。緊張した雰囲気の中、静かな熱戦が繰り広げられました。大会は2パートに分かれて行われ、Aパートで中島和則さん(野田)・六段、Bパートで北隅昌則さん(添田東)・一段が優勝となりました。



↑勝負を左右する一手一手に緊張が走っていました

寒稽古で強い身体と不屈の精神を 田川修武会が寒稽古

1月5日、空手道場・田川修武会が、田川市の正進館と合同で、新年恒例の寒稽古を行いました。稽古には子どもから大人まで約35人が参加し、道場から約3キロのランニングした後、歓遊舎ひこさん前の彦山川の冷たい水に入り、気合の入った突きで、1年で最も寒さが厳しいこの時期に、心と身体を鍛えていました。



↑お腹の底から声を出して寒さを吹き飛ばしました

↓消防団員らが号令に合わせ、機敏な動作で服装点検や分列行進を披露した出初式



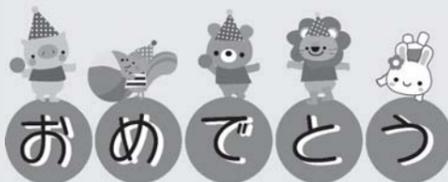
災害から地域を守る決意を新たに 添田町消防団出初式

1年間の防災への決意を誓う添田町消防団(田中久美男団長)による出初式が、1月13日にそえだドームで行われ、団員157人が参加しました。式では、田中団長が「今年は自主防災組織を実現化していきたい」と地域防災の重要性を話していました。また、消防団員や少年防火クラブ、婦人防火クラブの皆さんが、息の合った分列行進を披露したり、長年消防活動に奉仕した団員・家族への表彰や退団・入団などの辞令交付などが行われたりし、火災・災害ゼロへの決意を示していました。



↑県大会出場選手によるポンプ操法模範演技

2月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY



しゅんじ
平名 隼治ちゃん
2月14日生 ②・上津野

隼ちゃん。誕生日おめでとう。
ごはんたくさん食べて大きくな
ってね。 パパ、ママより

◎3歳までのお子さん募集中
3月生まれは2月18日頃まで

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前
の読み方 ④誕生日 ⑤年齢
⑥行政区 ⑦メッセージ
(50文字以内) ⑧保護者の連
絡先を送信してください。

送信先

koudojyouhou@town.
soeda.fukuoka.jp

☎ 役場総務課広報・秘書係
(☎ 82-1231)



みんなで楽しい☆クリスマス

クリスマス☆フェスタ

昨年の12月22日、児童館でクリスマス☆フェスタが行われました。虹の会の皆さんによる読み聞かせや、ピーターパンのパネルシアターに続いて、テパツタ☆マジックショーが行われ、子どもたちは大喜び。最後は、プレゼントの当たる〇×クイズもあり、子どもたちは歓声を上げて楽しんでいました。



↑鏡の中を通り抜けるマジックも大成功

今年一年、地域の繁栄を願って

各地で鬼火焚きやどんと焼き



①くるみ保育園も参加した上落合一地区 ②歓遊舎ひこさん前の河川敷で行われた野田地区の鬼火焚き ③楽しい抽選会も行われた庄西地区。どの地区も趣向を凝らし、世代を超えて交流しました

1月12日上落合一地区、1月13日に野田地区と庄西地区で年始恒例の鬼火焚き（どんと焼き）が行われました。山から切り出した竹や杉の葉、持ち寄った門松、しめ縄飾りなどで組んだ高さ10メートル以上あるやぐらに点火すると、炎は天に向かって勢いよく伸び、パチパチと音を立てながら一気に燃え上がっていました。各会場では、豚汁やぜんざいが振る舞われたり、参加者全員で抽選会をしたりと、それぞれ趣向を凝らして楽しく交流。やぐらが焼け落ちた後は、竹の先に挟んだ餅を残り火で焼いて、今年一年の無病息災や五穀豊穰を願いながら、みんなで味わっていました。

大人になった自分へ届けるメッセージ

添田中学校立志式

自分の夢や将来の希望に向かい努力を決意し、表明する立志式が1月18日、オークホールで行われ、2年生82人が大人になった自分宛てにメッセージを書き、代表して生徒6人が発表しました。また、幼児教育専門家の熊丸みつ子先生が講演し「思春期をあなたらしく成長して。悩んでいるあなた、大丈夫、順調よ」と語りかけていました。



↑壇上で代表者6人が20歳の自分へ宛てた手紙を読み上げました

園児とふれあい、楽しく介護予防

若返り教室の高齢者と園児が交流会

1月24日、介護予防事業の若返り教室の参加者とひかり保育園、たから保育園、くるみ保育園、みどり保育園の年長・年中組との交流会が町民会館で行われました。自己紹介や準備運動に続いて、一緒にゲームで交流した園児と高齢者の皆さん。かわいい園児たちの姿に教室の皆さんは目を細めながら、楽しいひとときを過ごしていました。



↑高齢者と園児が身体を動かしながらゲームで交流しました

大切な家族へ、10年間の感謝と将来の誓い

二分の一成人式

10歳を迎えた小学校4年生が、10年間の感謝や将来の夢を決意する二分の一成人式が町内の各小学校で行われました。1月25日、落合小学校で行われた式では、10年間の写真を集めた児童手作りのスライドショーが映し出され、児童から保護者へ「産んでくれてありがとう」と感謝の手紙が渡されました。また保護者から児童への手紙も読まれ、生まれた日の喜びやどんな思いで子育てをしてきたかなどが伝えられると、会場は感動に包まれていました。



↑児童には校長先生から二分の一成人証書が手渡されました

文芸歳時記

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】
縫物をしてらっしゃるの私もう

卒業したの百歳越えて 大塚 成子

三ヶ日を冴え渡る空の青さから

何か佳きこと零るるとぞ思ふ 大塚 富江

元旦の空の真青に飛ぶ鳥は

羽根を広げて我が窓よぎる 五十嵐田鶴

神の座す霊験ありと伝へ聞く

英彦山の峰は錦に 平井 朝子

川べりに銀杏洗ふ冷たげな

人影見えて秋深まりぬ 荒巻ミサ子

シクラメンの花葉の勢ふ年の瀬の

一鉢購ひ心落ち着く 福富 廣枝

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

凍蝶やそこを空とは云い難し 諫山 静香

いつからを余生と言おう年用意 鈴鹿 雅子

日本晴れ上々吉の年明け 安永 藻香

どんと焼き平成の垢燃え尽くす 手嶋くみえ

笹の目をつけて生れし新豆腐 牧野八寿子

人生は寄り道もよし冬の陣 武田 晴子

数え日や予定の中の美容院 森田 竹子

教えても教えられても春の月 西 加予

晩冬の風一枚の田を哭かす 大池みどり

【俳句 投稿】

あちこちと氣まゝに座せる落椿 本川ミツ子

臘梅に朝日が当たり輝けり 寺本 紀子

久女忌や英彦の土鈴も湿りがち 濱田イサオ

木曾馬の秋意とどむる眼の潤み 島津余史衣

酒好きの友に土産の新走り 柴田 一世

裏返しスリッパを干す冬日和 斎藤智寿子

日溜りに小さく息づく秋の蝶 天野ユキ海

年用意リヤカーに有る杵と臼 立花 克明

【短歌 投稿】

三国川のぼりてくだる清掃船 独活山強実

橋を渡れば街のざわめき 櫻木マサ子

ストーブのカボンカポンの音侘びし

新たな年が褪せゆくメドレー 仲摩 直子

左目を少し開いて逝きし兄

今わの際に見しものは答は返らじ 中富 泰州

【川柳 投稿】

あ、五輪世界平和も競えたら

●3月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

2月18日頃までに役場総務課に連絡してください。

※投稿は1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。



教育のひろば

おやじ会とPTAが受験生を激励

添 田中学校には学校へのさまざまな支援・協力を行うことを目的として、男性保護者でつくる「添田中学校おやじ会」があります。その添田中おやじ会が主催し、添田中PTAと合同で1月12日、受験を控えた3年生の希望進路合格を願って激励会が行われ、早朝から準備した豚汁やヤマメの塩焼きなどが振る舞われました。

「体育会などで、皆さんが一生懸命に頑張っている姿をよく見せてもらった。これから入試を控え、困難も待ち受けるが、体調管理をしっかりし、精一杯、頑張ってください」とエールをおくる、添田中おやじ会会長の村井誠治さん。生徒会長の田邊健介さんは「皆さんが用意してくれた豚汁をお腹いっぱい食べて、これからの入試に向けて頑張ります」と感謝と決意を述べました。



←おやじ会の温かい豚汁を食べて受験を乗り越え！

添田中おやじ会は平成20年4月に男性保護者の有志が立ち上げ、11年目を迎えました。中学3年生の土曜学習「英峰塾」への参画や、体育会、花火大会などにおける会場巡回など、生徒への支援活動を学校、教育委員会と協力して行っています。教育委員会としましても、添田中おやじ会の活動にお礼を申し上げるとともに、これからも生徒たちの健全な成長の見守りを続けていきたいと思えます。

町立小・中学校「卒業式、入学式」

- 卒業式
 - ▶添田中学校 3月8日(金)
 - ▶各小学校 3月15日(金)
- 入学式
 - ▶添田中学校 4月10日(木)
 - ▶各小学校 4月11日(金)



☎ 教育委員会
学校教育課 (☎82-5963)

やさしさが 笑顔をつくる 献血にご協力を

♥とき 3月8日(金) 10時～12時30分
13時30分～16時
♥ところ 添田町役場
♥対象者 体重が50キログラム以上の人で、
男性 17歳～69歳 女性 18歳～69歳
※65歳以上の人は、60～64歳に献血経験がある人。
☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎88-8111)

相談

保健師・管理栄養士が個別健康相談に応じます

▼とき 2月22日(金) (受付15時30分～16時30分)
▼ところ クアハウス
▼内容 健診結果や食生活、栄養改善に関することなど、気軽に相談してください
☎ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎88-8111)

労働問題相談会

▼とき 3月4日(月) 13時30分～16時
▼ところ 添田町役場1階第3会議室
※予約不要、相談無料。

9時～20時(受付19時30分まで)
▼ところ 福岡県筑豊労働者支援事務所(飯塚市)
▼対象者 労働者、事業主
▼内容 解雇、雇止め、その他労働問題に関する相談
▼相談方法 来所または電話
※予約不要、相談無料。
☎ 福岡県筑豊労働者支援事務所 (☎0948-22-1149)

福岡県筑豊労働者支援事務所

(☎0948-22-1149)

配偶者や交際相手からの暴力に悩んでいませんか

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、配偶者や恋人などから受ける暴力です。身体的な暴力だけでなく、怒鳴る、脅す、電話や外出を制限するなど、暴力にあたります。一人で悩まず、相談してください。

▼相談窓口
▼配偶者暴力相談支援センター(福岡県田川保健福祉事務所) / 月曜～金曜8時

30分～17時15分(☎42-4850)
▼福岡県あすばる女性相談ホットライン / 9時～17時(☎092-584-1266) ▼福岡県配偶者からの暴力相談電話 / 月曜～金曜17時～24時、土日祝日9時～24時(☎092-663-8724) ▼男性DV被害者のための相談ホットライン / 水曜～木曜17時～20時、金曜12時～16時(☎092-571-1462) ▼LGBTの方のDV被害者相談ホットライン / 第2火曜12時～16時、第4火曜17時～20時(☎080-2701-5461) ※年末年始や祝日などは、休みの場合があります。

試験・募集

自衛官採用試験

【第8次自衛官候補生採用試験】
▼試験日 3月3日(日)
▼試験会場 陸上自衛隊福岡駐屯地
▼受験資格 18歳以上33歳未満の男女
▼受付期間 2月16日(土)～2月26日(火)
※詳しくは問い合わせください。
☎ 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所 (☎0948-22-4847)

添田町浄水場常直勤務員(夜勤)、浄水場作業員募集

▼勤務地 添田町浄水場
▼募集人数 各1人
▼雇用期間 4月1日から1年間
▼勤務時間 ▼常直勤務員 17時～8時30分 ▼浄水場作業員 8時30分～17時 月10日程度
▼給与 ▼常直勤務員 月給1万1040円 ▼浄水場作業員 月給8800円
▼応募資格 20歳から70歳までの町内在住者で、次に該当しない人
▼成年被後見人、被保佐人の

給食調理員を募集します

町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します

▼募集期限 3月15日(金) 17時
▼応募方法 役場水道課まで履歴書を持参してください
☎ 役場水道課工務係 (☎82-5961)
添田町浄水場 (☎82-0483)

添田町社会福祉協議会職員募集

【契約職員(男性)】
▼勤務地 クアハウス
▼募集人数 1人(男性)
▼業務内容 受付、館内清掃、パソコン入力、売店業務など

パソコン入力、売店業務など
▼勤務時間 ①8時30分～17時15分 ②12時15分～21時
▼給与 月額14万5200円
※交通費別途支給。
【パート職員(女性)】
▼勤務地 クアハウス
▼募集人数 1人(女性)
▼業務内容 受付、館内清掃、パソコン入力、売店業務など
▼勤務時間 ①8時30分～12時30分 ②16日勤務
▼給与 時給825円
※交通費別途支給。
☎ クアハウス(☎82-5061)

添田町を元気に！ 地域おこし協力隊通信 Vol. ⑧

第一回食の集い 地元食材の料理教室を開催

佐々木です。12月26日に、料理教室をオークホールで開催しました。メニューは、歓遊舎の野菜を使った混ぜ込みご飯、冬野菜のみそ汁、ぬか漬けです。他にも、包丁の基本的な使い方、料理がうまくなる3つのコツ、出汁の取り方などの学びを共有しました。料理教室は毎月開催する予定ですので、ぜひ参加してください。申し込みは添田町地域おこし協力隊フェイスブック、または役場地域産業推進課商工業振興係(☎82-5962)に問い合わせください。

審判、破産宣告を受けた人、滞納者、暴力的組織の構成員(構成員とみなされる場合も含む)
▼募集期限 3月15日(金) 17時
▼応募方法 役場水道課まで履歴書を持参してください
☎ 添田町浄水場 (☎82-0483)

参加者の声
包丁の使い方や基本の姿勢を、楽しい雰囲気の中で学べてよかったです。簡単作れるレシピをもらったので、家でも挑戦しようと思いました。

私たちの活動を公開しています
添田町地域おこし協力隊フェイスブックページ
<https://www.facebook.com/soedamatiikiokosi/>
添田町地域おこし協力隊 検索

人の動き

- 12月末日現在()は前月比
- 人口 9,890人(-26人) ●出生 4人
 - 男性 4,671人(-5人) ●死亡 17人
 - 女性 5,219人(-21人) ●転入 14人
 - 世帯数 4,723世帯(-19世帯) ●転出 27人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ/10時~15時)
2月19日☎、3月5日☎
 - 補聴器相談 (役場ロビー)
2月8日☎(15時~)、13日☎(13時~)
 - 無料法律相談 (オークホール/13時~16時)
2月15日☎
- ※2か月に1回の巡回無料相談会です。前日午前中までに役場保健福祉環境課で予約してください。
- ☎ 役場保健福祉環境課 (☎ 82-1232)
 - 無料法律相談会
(福岡法務局田川支局/13時~16時)
2月12日☎、3月12日☎

- ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
- ☎ 法テラス福岡 (☎ 050-3383-5502)
- こころの健康相談 (田川保健福祉事務所/予約制)
2月12日☎(10時~)、28日☎(14時~)
- ☎ 田川保健福祉事務所健康増進課 (☎ 42-9307)
- 女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所/要予約)
2月6日☎、3月6日☎(13時30分~16時30分)
- ☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎ 0948-29-0277)

納期限のお知らせ

- 2月28日☎が納期限です
 - ▷国民健康保険税(8期)
 - ▷後期高齢者医療保険料(8期)
- ☎ 役場住民課税務・滞納対策係 (☎ 82-1234)

事件事故発生状況

12月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0(±0)	4
性犯罪	0(±0)	0
車上ねらい	0(±0)	0
空き巣・忍び込みなど	0(-1)	4
12月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	8(-4)	192
死亡者	0(±0)	0
負傷者	3(+3)	44

第31回 町民バドミントン大会

- とき 3月10日☎ 9時(受付8時45分~)
- ところ 町体育館/参加無料
- コース 上級者・中級者・初級者/性別なしのダブルス
- 参加資格 町内在住・在職者や町内体育施設で活動をしている人
- 申込期限 3月4日☎(社会教育課に申込用紙を提出してください)
- ☎ 教育委員会社会教育課生涯教育係 (☎ 82-2559)



テレビの「受信障害」対策を実施しています

2月から中元寺、野田、添田、庄地区の一部地域で携帯電話の新しい電波利用を開始します。開始に伴い、テレビの映像に影響の出る可能性がある地域にチラシを配布します。影響が出た場合は対策員が回復作業を行いますので、コールセンターまで連絡してください。※回復作業を行っても、費用を請求することは一切ありません。

☎ 700MHz(メガヘルツ)テレビ受信障害対策コールセンター (☎ 0120-700-012)

イベント

癒しのパステルアート教室 参加者募集

パステルアートは、パステルの粉をコップンや指で伸ばして描き、絵の苦手な人でも簡単に描ける教室です。参加者からは、「心が癒された」「元気が出た」などの声が多く聞かれます。笑顔になれ、心を元気にするパステルアートの世界をみんなと楽しく体験してみませんか。

- ▼とき 3月7日☎・14日☎ 10時30分~12時
- ▼ところ オークホール
- ▼募集人数 10人程度

お知らせ

春の自然観察会 in 鳥羽公園

- ▼とき 3月24日☎10時~12時
- ▼ところ 鳥羽公園駐車場(飯塚市)
- ☎ 武貞眞弓さん (☎ 080-3959-8063)

農産物を対象とした収入保険制度が始まります

青色申告を行う農業者(個人・法人)は、収入保険に加入できます。収入保険は、すべての農産物を対象に、自然災害や価格低下などによる収入減少が生じた場合に補償する保険です。また、青色申告は、自分の経営を客観的につかむための重要なツールです。新たに青色申告を始めるため、個人の場合、3月15日までに所轄の税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。この申告を行えば、その年分の所得から青色申告ができるようになります。(申告時期は翌年2~3月)

☎ 福岡県農業共済組合筑豊支所 (☎ 0948-83-1007)

福祉のしごと就職フェア 2019 in 福岡

- ▼とき 3月9日☎11時~16時
- ▼ところ クローバンプラザ(春日市)
- ▼内容 就活応援セミナー、就職面談会、福祉関係資格・求職面談
- ▼対象 社会福祉施設・事業所への就職希望者
- ▼託児 生後3か月から就学前

鳥羽池周辺を散策しながら、野鳥や植物などの自然を観察します

- ▼定員 30人(先着順、小学生以下は保護者同伴で参加してください)
- ▼参加費 無料
- ▼申込期間 2月8日☎~3月15日☎
- ▼申込方法 ①参加者全員の氏名、性別、年齢 ②代表者の住所 ③代表者の連絡先 ④当日の緊急連絡先を明記しFAXまたはEメールで申し込んでください

☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 (☎ 0948-21-4975) FAX 0948-23-4162

福岡県議会議員 立候補予定者説明会

- ▼とき 2月27日☎ 13時30分
- ▼ところ 福岡県庁3階講堂
- ▼持参物 筆記用具
- ※1候補者あたり2人以内でお願いします。また、会場へは公共交通機関でお越しください。
- ☎ 福岡県選挙管理委員会 (☎ 092-643-3077)

まで(要事前予約)

☎ 福岡県社会福祉協議会 (☎ 092-584-3310)

○ 添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼(故)立花ミサ子

○ 錦風荘へ
▼慰問 ▼赤間徳夫(岩瀬)▼伊藤麗子(添田中)▼三丸十七子(添田中)

(平成31年1月14日現在)

全国一斉放送訓練 防災無線のスピーカーで試験放送をします



大 災害や緊急事態発生時に備え、全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施されます。町でも町内に設置している防災無線のスピーカーから下記の内容が放送されますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。今回行うのは放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。

●全国瞬時警報システム(Jアラート)放送訓練

- ▷とき **2月20日☎11時頃**
- ① 開始チャイム
 - ② 「これはテストです」
 - ③ 「こちらは防災添田町です」
 - ④ 終了チャイム

※全国瞬時警報システム(Jアラート)とは、他国などからの弾道ミサイル情報や緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、人工衛星を用いて国(内閣官房・気象庁から消防庁を經由)から送信し、町の防災無線のスピーカーを自動起動することで、国から住民の皆さんへ緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

☎ 役防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)

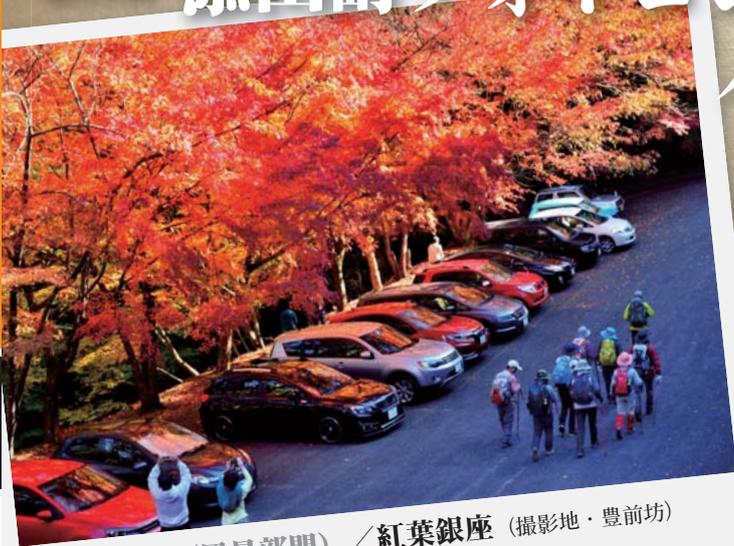
農地の貸し借りを推進 利用権設定について

町では、意欲ある担い手を育成し、農業生産の合理化・効率化などで生産コストの低減を図るため、農業経営基盤強化促進事業で農地の貸し借りを推進しています。

- ▼出し手のメリット
 - ▽貸した農地は期限が来れば、離作料を支払うことなく必ず返ってきます
 - ▼受け手のメリット
 - ▽経営規模の拡大が図れます
 - ▽貸借期間中は安心して耕作できます。また、再設定で継続



第23回 添田町フォトコンテスト 入賞作品決定



●特選 (風景部門) / 紅葉銀座 (撮影地・豊前坊)
木下 武さん (川崎町)



●特選 (イベント部門) / 英彦山参道を走る (撮影地・英彦山参道)
生田 守さん (北九州市)

町内の自然やイベントをテーマにした添田町フォトコンテスト。今回は、特選2点・秀作10点・入選15点の入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。

- 秀作 / 10点 【風景部門】 ▶河野勉 (北九州市) ▶井上修 (北九州市) ▶千田一弘 (添田町) ▶八丁学 (行橋市) ▶小川広子 (北九州市) 【イベント部門】 ▶石村國男 (宗像市) ▶熊崎芳彦 (川崎町) ▶高瀬重信 (大野城市) ▶熊崎泰文 (川崎町) ▶葉石美和子 (北九州市)
- 入選 / 15点 【風景部門】 ▶前谷慎治 (福智町) ▶沖永豊子 (北九州市) ▶迎一恵 (北九州市) ▶三浦誠 (北九州市) ▶俵直之 (田川市) ▶福森和子 (北九州市)

- ▶筒井篤孝 (北九州市) 【イベント部門】 ▶黒水律子 (北九州市) ▶遠藤晴世 (北九州市) ▶田代直彦 (直方市) ▶宿里繁人 (嘉麻市) ▶入江千鶴子 (北九州市) ▶末廣周三 (福岡市) ▶野北泰司 (添田町) ▶今石貞夫 (北九州市) / 順不同・敬称略
- ※入賞作品は、英彦山スロープカー花駅内のオープンギャラリーで展示しています。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

町長室 広報そえだ

早いものでもう2月。この月の書き出しはいつもこうである。▼正月餅を食べすぎたと言う方に、面白い記事を紹介しよう。国等が調査したもので、歩くことがいかに重要なかのバックデータである。日本

の都市の暮らしの中で一番自家用車に頼っているのが愛知、次が大坂、東京とつづき、これを糖尿病の患者数と比較すると、糖尿病患者の一番多いのが愛知で大阪、東京の順である。▼1歩、歩く医療費がどれだけ下がるかを計算している。1日1歩で0・065〜072円ほど医療費抑制効果がある。1日に1500歩多く歩くと、大体年間3万5000円ほど医療費が下がり、貢献できるといふ計算だ。寝たきりになるかならないかは1日平均2000歩、歩くかどうかで差がでるそうである。(東京健康寿命医療センター調べ)▼うつ病は4000歩、歩くことで予防・改善。認知症は5000歩。同じく5000歩で心疾患・脳卒中。7000歩でがんや動脈硬化、骨折。8000歩で高血圧、糖尿病の予防・改善だと言ふ調査結果がでてくる。また、毎日外出する高齢者に対し、ほとんど外出しない高齢者は、認知症の発生率が3.5倍高いとの調査結果もある。▼添田町も介護予防ポイントで皆さんが歩くことを推奨している。歩くことで健康が保たればそれに越したことはない。健康維持の一つのデータとして参考になれば幸いだ。▼福岡市天神のイムズビル3階にローカルデベロップメントラボというお店があり、九州各地の良い品を展示販売している。その中に添田町の特産品が置いてあった。英彦山がらがら、津野の米を使ったおこし、びつくりしたのが添田町木耳柚子胡椒(きはちま)おいなり、英彦山りんご蜂蜜(はちみつ)おいなりと書かれた一口大のおいなりさんがあった。京都市内の店にも置いてあり、美味しくて飛ぶように売れているそうである。福岡市では津野の米を使ったおこしがナンバー1ということで、歓遊舎ひこさんでも好評を博している。▼1月半ばに県議会議員の先生が、英彦山のスキが欲しいと言ふことで英彦山スキー場跡にご一緒した。先生は陶芸をやっており、日展にも入選している。スキを持ち帰り、燃やして灰にして和薬にするためだ。観光協会の皆さんが刈ってくれていたスキを集めてトラックに積んで帰った。素晴らしい色が出るそうである。使うところはあるのだなと思つた次第である。▼福岡市東区奈多在住でお土産と言つてワカメやサザエ、ナマコなど海産物を頂いた。お返しにと考えていたところ、農業委員をされている野田の方から猪肉とミカンを頂いたので、それを土産に渡した。大変喜ばれた。身近にお土産はあるものだ。

